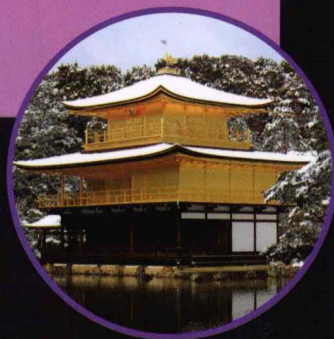


翰林主编

零起点 日语阅读 突破



上海交通大学出版社
SHANGHAI JIAO TONG UNIVERSITY PRESS



翰林主编

零起点 日语阅读 突破

编者 高 冉



上海交通大学出版社
SHANGHAI JIAO TONG UNIVERSITY PRESS

图书在版编目(CIP)数据

零起点·日语阅读突破/翰林主编. —上海:上海交通大学出版社,2012

(零起点系列)

ISBN 978-7-313-08629-7

I. 零... II. 翰... III. 日语—阅读教学—自学参考资料 IV. H369.4

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2012)第 119622 号

零起点·日语阅读突破

翰 林 主 编

上海交通大学出版社出版发行

(上海市番禺路 951 号 邮政编码 200030)

电话:64071208 出版人:韩建民

常熟市文化印刷有限公司印刷 全国新华书店经销

开本:880mm×1230mm 1/32 印张:6.875 字数:310 字

2012 年 9 月第 1 版 2012 年 9 月第 1 次印刷

印数:1~4 030

ISBN 978-7-313-08629-7/H

ISBN 978-7-88844-674-8/H 定价(含 MP3):22.00 元

版权所有 侵权必究

告读者:如发现本书有印装质量问题请与印刷厂质量科联系
联系电话:0521-52219025

前言

随着全球化进程的加深，中日之间的贸易往来日渐频繁，作为全球第二大经济体的日本，已是中国最大的贸易伙伴之一。而作为日本官方用语的日语，在中日交流中的举足轻重的地位也越来越多地得到了大家的认可。

在日语的学习过程中，不可或缺的就是阅读能力。阅读可以提高学习者对日语的兴趣。另外，在日语文章中，往往蕴涵着丰富的语法知识，通过阅读可以对学过的语法进行复习也可以了解到尚未认知的一些语法知识。

此外，阅读还可以扩大词汇量和知识面。通过单词书来对单词进行死记硬背的话，有效的记忆时间很短。如果能将单词放在句子中记忆的话，不仅能将单词记得更牢更久，还能顺势将句子中关联的其他知识点连带记住。

尽可能多地阅读日语文章还可以增加对该国家的文化背景的了解，拓展自己的眼界和知识面。避免在与日本人交流时无话可说或是惹出笑话。另外，尽可能多地阅读日语文章还能增强自己日语学习的语感。在日语考试中，阅读也是不可少的一项考查内容，而提高自己的阅读能力，最直接的途径就是多读多练。

本书适用于日语初学者以及有一定日语基础想要提高自己日语能力的人群，是由精选的100篇阅读文组成的。从神话故事到名人故事、到旅游观光、到社会百态、到文化现象再到政治经济，知识面广。基本结构式：文本-单词-译文。

1. 文本。所选文本都是从每一类别中精选的文章。文章长短和难易程度都较适中。难度较大的单词标注有假名，方便读者理解和阅读。

2. 单词。针对文章中存在的部分难以理解的单词进行讲解。除了词性和释义例句之外，部分单词还有重点讲解，如：单词比较及注意点等。

3. 译文。译文本着忠实于原文，在此基础上尽量生动化的原则，尽可能地将正确流畅的译文呈现给广大读者，以增强读者的阅读兴趣。

最后，预祝每一位读者都能够在日语的学习中学有所成！

目 录

神话传说

1	イザナキとイザナミの国生み	1
2	火の神カグツチの誕生とイザナミの死	3
3	黄泉の国	5
4	イザナキのみそぎ	7
5	アマテラスとスサノオ	9
6	アマテラスの岩戸かくれと岩戸開き	11
7	祖母山の大蛇伝説	14
8	恵良八幡の伝説	16
9	白水さまの伝説	18
10	鬼岩階段の伝説	20
11	かぐや姫	22
12	桃太郎	24
13	浦島太郎	26
14	金太郎	29
15	鶴の恩返し	31

名人故事

1	織田信長・姉川合戦	34
2	豊臣秀吉・統一事業	36
3	徳川家康・江戸幕府	38
4	小泉純一郎・人気の秘密	40
5	福沢諭吉・啓蒙思想	42
6	手塚治虫・漫画の神様	44
7	宮崎駿・金魚姫	46
8	与謝野晶子・大胆な才女	48
9	川端康成・ノーベル賞	50
10	松下幸之助・共存共栄	52

旅游观光

1 熊本・阿蘇(北)・温泉	55
2 名古屋・名物と地下街	57
3 大阪・大阪人	59
4 東京・銀座	61
5 東京・浅草	63
6 東京・秋葉原	66
7 横浜・観光スポット	68
8 沖縄・家族旅行	70
9 札幌・乗馬と競馬	72
10 神戸・夜景	74
11 京都・夜桜と紅葉	76
12 富士山・日本の象徴	79

社会百态

1 現代的なコンパ	81
2 ジャニーズ事務所	83
3 芸能界の是非	85
4 婚外子差別	87
5 タバコ増税一大歓迎	89
6 電子書籍が読書を変える	91
7 眠れない大人たち	94
8 中高年の登山事故	96
9 追跡暴力団のマネーロンダリング	98
10 無視された「安全」	100
11 障害者の働くチャンス	102
12 広がる学生の仕事体験	104

13	厚生年金の空洞化	106
14	進む情報流出対策	108
15	クレームで企業力アップ	110
16	デジタル時代の著作権	112
17	高速道路を無料化する影響	114
18	ケータイゲームが金を食う	116
19	中学授業で性教育	118
20	一人親世帯の貧困問題	120

文化万象

1	茶道	123
2	花道	125
3	香道	127
4	盆栽	129
5	相撲	131
6	剣道	133
7	野球	135
8	日本刀	137
9	和紙	139
10	人形	141
11	陶磁器	143
12	着物	145
13	浴衣	147
14	日本酒	149
15	刺身	151
16	納豆・寿司	153
17	和室	155
18	風呂	157

19 遊び	159
20 和歌・俳句	161
21 川柳・連歌	163
22 日本画	165
23 能	167
24 歌舞伎	169
25 人形浄瑠璃	171
26 落語	173
27 お盆	175
28 中元・歳暮	177
29 文化祭	179
30 お土産・餞別	181
31 舞妓・芸妓	183
32 忍者	185
33 武士道	187

政治经济

1 天皇	190
2 内閣	192
3 内閣支持率	194
4 選挙	196
5 世襲制	198
6 自衛隊	200
7 戦後の経済の発展の原因	202
8 日本の中小企業	204
9 日本の長寿企業	206
10 発展中生まれた問題	208



イザナキとイザナミの国生み

昔、この世がはじまる前は何もなく、ただ、渦巻のように、どろどろと「混沌(こんとん)」としていました。やがて、そこは「天」と「地」に分かれました。

そして、「天」に浮かぶ「高天原(たかまがはら)」に、アメノミナカヌシという神さまが最初に姿を現しました。それから、タカミムスヒ、カムムスヒなど何人かの神さまが現れ、最後に、男の神さまのイザナキと、女の神さまのイザナミが現れました。

さて、これらの神さまが生まれる頃、「地」は、まだ、柔らかく、どろどろ、ゆらゆらと漂っていました。

ある日、高天原の神さまたちは、イザナキとイザナミに向かってこう命じました。「地はまだ固まっていません。これからお前たち二人が力を合わせて、人が住めるような国をつくりなさい」。

そう言うと、イザナキとイザナミに「天の沼矛(あめのぬぼこ)」という剣を与えました。

そこでイザナキとイザナミは、高天原と「地」の間に浮かぶ「天の浮橋(あめのうきはし)」に降り立つと、そこから天の沼矛を「地」に向けて差し降ろし、どろどろとした中に入れ、力を尽くして掻き混ぜました。

しばらく掻き混ぜて、天の沼矛を引き上げると、剣の先から一滴一滴としたたり落ちた海水と泥の混じった塩が積もり積もって固まって、一つの島が生まれました。これが「オノコロ島」です。

この、オノコロ島を舞台(ぶたい)として、いよいよイザナキとイザナミの国づくりが始まりました。

◎ 单词

单词	读音	词性	释义
渦巻	うずまき	名	漩涡, 漩涡状
记忆法	渦を巻く(打旋儿), 「渦巻」比「渦」更富动态感。		
浮かぶ	うかぶ	自五	漂, 浮, 浮出, 浮现, 想起
例句	魚が水面に浮かぶ。/ 鱼浮出水面。		
注意	……が……に浮かぶ。		
漂う	ただよう	自五	漂流, 飘荡; 洋溢, 充满; 露出
例句	風に漂う。/ 随风飘(荡)。		
混ぜる	まぜる	他下一	掺合, 掺混; 加上, 加进; 搅和, 搅拌
例句	酒に水を混ぜる。/ 酒里兑水。		
比较	文中的「混じる」自五。		
積もる	つもる	自五	积, 堆积, 累积, 积存; 估计, 推测
例句	雪が3メートル積もった。/ 雪积三尺深。 人の心を積もる。/ 揣度他人心思。		

译文

男神受命创国

很久很久以前, 这个世界开始之前什么都没有, 只是如同漩涡一样, 到处是泥, 混沌不清。不久, 就分出了“天”和“地”。

然后, 在“天”上漂浮的“高天原”上, 一个叫天之御中主神第一个出现了。之后, 高御产巢日神、神产巢日神等好几位神也出现了, 最后, 男神伊邪那岐和女神伊邪那美诞生了。

这些神诞生之时, “地”还是柔软地, 粘稠地, 摇摇晃晃地漂着。

有一天, 高天原的众神, 向伊邪那岐和伊邪那美命令道: “‘地’还没有坚固, 今后你们二人同心协力, 创造人类能够居住的国家。”

说完之后他们把叫做“天之沼矛”的剑赐予了伊邪那岐和伊邪那美。

于是伊邪那岐和伊邪那美, 降立于高天原和“地”之间漂浮的“天之浮

桥”，从那里将天之沼矛向着“地”插下去，插入粘稠的泥中，用力地搅拌。

搅拌了一会儿，抽出天之沼矛，从剑头一滴一滴地滴下的海水和混合了泥的盐积累再积累凝固起来，生成了一个岛屿。这就是自凝岛。

以这个自凝岛为舞台，伊邪那岐和伊邪那美终于开始了他们的创国之路。



火の神カグツチの誕生とイザナミの死

イザナキとイザナミは、高天原(たかまがはら)からオノコロ島に降り立つと、さっそく大きな御殿(ごてん)を建てました。

そして、ある日、二人きりになるとお互いの体をジロジロと見比べました。「私の体はこうにつくられています、足りない部分があるようです。」とイザナミが言いました。イザナキは「私の体には反対にあまっているものがあります。では、足りない部分とあまっている部分を合わせて私たちの国をつくりましょう。」と言いました。

こうして、イザナキとイザナミはたくさんの島をつくりはじめました。次に、イザナミはたくさんの神さまを生みました。家や土地の神さま、海の神さま、風や木や山や野の神さま、船の神さま、食べ物の神さまが次々に生まれ、最後に火の神さまが生まれました。火の神さまの名前はカグツチです。

しかし、炎に包まれて生まれてきた火の神を生んだことでイザナミは大火傷を負ってしまい、そのことが原因でとうとう死んでしまいました。

「たった一人の子のために、いとしい人を失ってしまっ

た。」大好きなイザナミに死なれたイザナキは悲しんで、大声で泣き続けました。そうしているうちに、イザナキの心の中にカグツチへの怒りと憎(にく)しみがフツフツと湧き上がってきました。そして、とうとう腰にさげていた“十握の剣(とつかのつるぎ)”でカグツチを三つに切ってしまったのです。

イザナミを失い我が子さえも殺してしまったイザナキのその悲しみはそれから止むことはありませんでした。

◎単語

単語	音标	词性	释义
ジロジロ	じろじろ	副	盯着看，目不转睛地看，凝视
例句	人の顔をじろじろ見るのは失礼だ。/盯着看人脸不礼貌。		
炎	ほのお	名	火焰，火苗
例句	炎の海と化す。/变成一片火海。		
火傷	やけど	名	烧伤；遭殃，吃亏
例句	熱湯で足に火傷をした。/开水烫了脚。 あんな女にかかわったら火傷するぞ。/和那种女人打交道，你要吃亏的。		
負う	おう	他五	背，负；遭受；借助；承担，担负
例句	重荷を負う。/负重担。		
怒る	おこる	自五	发怒，生气；骂，训
比较	名词时，「怒り」一般读音为いかり。		

译文

火神迦具土的诞生与伊邪那美之死

伊邪那岐和伊邪那美，从高天原降到自凝岛以后，就立刻建造了一个很大的府邸。

后来，偶然的一天，二人独处的时候开始盯着对方的身体来进行比较。伊邪那美说，“我的身体是这样的构造啊，可好像有不足的地方。”伊邪那岐接着说：“相反，我的身体好像有多出来的部分。那我们就把不足的部分和多余的部分结合起来，来创造我们的国家吧。”

就这样，伊邪那岐和伊邪那美开始造出了很多岛屿。紧接着，伊邪那美又生了很多神。家和土地之神，海神，风、木、山和田野之神，船神，食物之神，一个接一个地出生了，最后出生的是火神。火神的名字叫做迦具土。

但是，由于火神出生时是被火包裹着的，伊邪那美因此受到了严重的烧伤，最终不幸过世。

“只是为了一个孩子，却失去了心爱的人。”失去至爱之人的伊邪那岐悲痛欲绝，放声痛哭。与此同时，从伊邪那岐心中也涌起了对迦具土的愤怒和憎恶。于是，他拿起了吊在腰间的“十握剑”将迦具土砍成了三截。

因失去伊邪那美连自己儿子都给杀了的伊邪那岐，他的悲痛从那时起也从未停止过。



黄泉の国

イザナミを失ったイザナキは、諦め切れずに、ただ会いたい一心でイザナミのいる「黄泉(よみ)の国」へ出かけていきました。イザナキは一生懸命にイザナミを探しました。

そして、イザナミをようやく見つけると、こう言いました。

「愛しいイザナミよ。まだ国づくりは終わっていません。さあ、一緒に帰りましょう。」

すると、イザナミは答えました。

「私は、黄泉の国の食べ物を口にしてしまったので、帰

ることができなくなっていました。でも、あなたが、こうしてわざわざ迎えに来てくれたので、この国の神に相談してみます。その間、決して私の姿を見ないでください。」

イザナキは長い時間イザナミが出てくるのを待っていました。しかし、いくら待っても出てきません。イザナキはとうとう我慢できずにイザナミのいる御殿(ごてん)に入り、中を覗いてしまいました。そこでイザナキが見たものはあまりにも変わり果てたイザナミの姿でした。顔や体中にウジ虫が這い回り、体のあちこちには、恐ろしい姿をした化け物たちが蠢いていたのです。

すっかり恐ろしくなったイザナキは、一目散に逃げ出しました。いよいよ恐ろしくなったイザナキは、必死に逃げました。そして黄泉の国の出口によりやく辿り着くと、近くにあった大きな岩で道を塞いで、やっとのことでイザナミから逃れることができたのでした。

◎ 单词

单词	音标	词性	释义
愛しい	いとしい	形	可愛的, 可憐的
例句	愛しい子。/可愛的孩子。		
化け物	ばけもの	名	妖怪, 魔鬼; (动植物等)非常大, 大得可怕
例句	化け物屋敷。/鬧鬼的宅子, 凶宅。		
蠢く	うごめく	自五	蠢動, 蠕動
例句	みみずが蠢いている。/蚯蚓在蠕動。		
辿る	たどる	他五	沿路前進; 边走边找; 走難行的路, 走艱難的道路; 追尋, 探索; 發展; 走向
例句	頂上に辿りついた。/爬上山頂。 青春の想い出を辿る。/追尋青春的記憶。		

续表

单词	音标	词性	释义
塞ぐ	ふさぐ	自五・他五	塞，堵，闭；郁闷，不痛快
例句	気が塞ぐ。/心里郁闷。 自動車が道を塞ぐ。/汽车挡道。		

译文

黄泉之国

失去伊邪那美的伊邪那岐，并没有放弃，于是他怀着想见到伊邪那美一面的心愿，向黄泉之国出发了。伊邪那岐拼命地寻找伊邪那美。

最后，终于找到了伊邪那美，于是伊邪那岐对她说：“心爱的伊邪那美啊，我们的创国还没有结束，来，跟我一起回去吧！”

于是，伊邪那美答道：“我吃了黄泉之国的食物，已经回不去了。不过，既然你这样专程来接我，我和此国之神商量试试吧。在这期间，绝对不要看我。”

伊邪那岐等了很久也不见伊邪那美出来。终于他忍不住进入了伊邪那美所在的府邸，往里面窥视，结果他看到了变得不像样的伊邪那美，她的脸上和身体里都爬满了蛆，浑身还蠕动着可怕的妖怪。

彻底被吓坏了的伊邪那岐，一溜烟地跑了出来。越发害怕的伊邪那岐，没命地逃。然后，好不容易到了黄泉之国的出口，就用近旁的大岩石堵上道路，终于摆脱了伊邪那美。

4 イザナキのみそぎ

ようやく黄泉の国から戻ることができたイザナキは、イザナミに会いに行ったことをとても後悔していました。

「黄泉の国で、私の体は大変けがれてしまった。きれいに洗い清めなければ」こういうと、イザナキは「筑紫(つく

し)の日向(ひむか)の橘(たちばな)の小戸(おど)の阿波岐原(あわぎがはら)」に出かけ、そこで「みそぎ」をすることに決めました。

まず、持ち物や身につけていた衣服を脱ぎ捨てました。するとそれらの物からたくさんの神さまが生まれました。杖から生まれた神さま、帯から生まれた神さま、小物を入れる袋から生まれた神さま、衣から生まれた神さまなどです。裸になったイザナキは、チャポン…チャポンときれいな水の中へと入っていくと、中に潜(もぐ)って体を洗いはじめました、するとどうでしょう。今度もたくさんの神さまが生まれたのです。イザナキの体から出た汚れから生まれた神さま、水底で体をすすいだときに生まれた神さま、水中で体をすすいだときに生まれた神さま、水面で体をすすいだときに生まれた神さまなどです。

そして、体がすっかりきれいになったイザナキが、最後に顔を洗った時のことです。左の目を洗うとアマテラス、右の目を洗うとツクヨミ、そして鼻を洗うとスサノオが生まれました。イザナキは、みそぎの最後に生まれた三人の神さまの誕生をととても喜び、アマテラスには高天原(たかまがはら)を、ツクヨミには夜を、スサノオには海を、それぞれ治めようと告げたのでした。

◎単語

単語	音标	词性	释义
穢れる・汚れる	けがれる	自下一	污染, 脏; 失去贞操, 身体不干净
例句	汚れた金を受け取るな。/不要接受不义之财。		
禊	みそぎ	名	洗手, 洗身, 洗礼, 斋戒沐浴
例句	禊はらい。/被禊。		
漱ぐ・濯ぐ・雪ぐ	すすぐ	他五	涮涤, 洗濯, 含漱, 漱口, 洗掉
例句	びんをすすぐ。/涮洗瓶子。 口をすすぐ。/漱口。 恥をすすぐ。/雪耻。		

译文

男神洗身

终于从黄泉国回来的伊邪那岐，非常后悔去见了伊邪那美。“在黄泉国，我的身体被弄得特别脏，必须要洗干净。”这么说着，伊邪那岐就出发去筑紫日向的橘町小戸地区的阿波岐原，决定在那“洗礼”。

首先，他扔掉行李，脱掉衣服。于是从这些物品中生出了很多神来。有从拐杖出生的神，从腰带出生的神，从装小东西的袋子出生的神，从衣服出生的神等等。赤裸裸的伊邪那岐，扑通地跳进了干净的水里，潜入水中开始清洗身体。接着怎么样了呢，这次又有很多神出生了。有从伊邪那岐身上掉下的污垢出生的神，在水底洗身时出生的神，在水中洗身时出生的神，在水面上洗身时出生的神等等。

然后，身体彻底变干净的伊邪那岐，最后的事就是洗脸了。洗左眼就出来了天照，洗右眼就出来了池库么米，然后洗鼻子须佐之男出生了。伊邪那岐对洗身最后生下的三个神的诞生，非常高兴，分派天照管理高天原，池库么米管理黑夜，须佐之男管理海洋。



アマテラスとスサノオ

スサノオは顎の髯が長く伸びて胸に届くほどになっても、一日中はげしく泣き続けるのは、母のイザナミに会いたかったからです。

「父のイザナキが黄泉の国へイザナミに会いに行ったように、自分も母に会いに行こう。でも、その前に姉のアマテラスにわけを話してからにしよう。」

アマテラスは、髪をほどいて男髪に直し、勇者のような姿で弟スサノオを迎えた。「スサノオが会いにくると聞いたが、これは、きっと良くないことの前ぶれにちがいない。もしかしたらこの高天原を奪いにくるのではないか。」と思ったからです。スサノオは会いに来たわけを説明しましたが、アマテラスは信じませんでした。